



八雲から全国へトレンドを発信しよう!

「ハーブ鶏発祥の地」記念碑除幕式・ 八雲町まちづくり講演会

6月2日、噴火湾パノラマパークにて、ハーベスター八雲30周年を記念し、ハーブ鶏発祥の地記念碑除幕式が行われました。八雲町観光大使であり、現在のハーベスター八雲の礎を築いた株式会社ジェーシーコムサ代表取締役CEO大河原毅氏は「ハーベスター八雲が、1988年に日本KFC株式会社の実験農場として開設された当時、鶏を放し飼いをしていると好んでハーブを食べていたところからハーブ鶏が生まれた」などの秘話を披露し来賓とともに記念碑の除幕を行いました。

また、同日にはシルバープラザにて「八雲町まちづくり講演会」が行われ約700人が集まりました。前地方創生担当大臣の石破茂氏が「地方から創生する我が国の未来」、2020年東京五輪で新国立競技場をデザインした建築家・東京大学教授の隈研吾氏が「場所の力」と題し講演しました。



みんなでわきあいあいとふれあいサロン活動!

見日・鮎川町内会 ふれあいサロンの会

5月23日、グループホームすまいる熊石（熊石鮎川町）で、入居者と家族、地域住民など誰でも気軽に集い、お茶を飲みながらくつろぐ「ふれあいサロンの会」が開催され、入居者や地域住民約30人が参加しました。地域にあるグループホームの入居者と地域が交流をはかり、みんなで楽しめる場づくりをしようと思日町内会と鮎川町内会が企画したもので、八雲警察署熊石駐在所菊池基所長による防犯講話や参加者によるカラオケが行われたあと、みんなで和気あいあいと会話に花を咲かせていました。



色々な人達の輪を広げて、運動会を復活!

関内町内会 運動会

関内町内会で6月10日、旧熊石関内小学校体育館を会場に運動会が行われ、地域住民のほか、研修で熊石を訪れていた札幌大谷大学、北海道大学の学生ら約50人が汗を流しました。毎年、この時期は関内小学校の運動会が行われていましたが、今年3月で同校が閉校したため、今まで地区ぐるみで行なってきた運動会が無くなってしまふのは寂しいと、町内会で運動会を企画しました。しゃもじや卓球のラケットでボールを運ぶリレーや、車輪のついたストーンをカーリングのように転がすカローリングなどの軽スポーツで競い、メンバーが足りない競技には大学生も積極的に参加し、地域との交流を深めました。

